

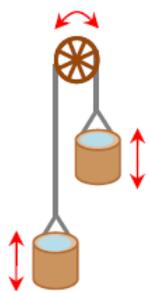
大山寺駅のりばご案内

1運行ごとに上り・下りの「のりば」が変わります

2番ホームに設置の電光掲示板と音声案内をご確認ください。



ケーブルカーの動く仕組みは、つるべ式（交走式）と言い、井戸のつるべのように1本のロープで両端の車両を上下に動かします。ケーブルカーの構造上、当駅では1回の運行ごとに上り・下りのホームが入れ替わります。

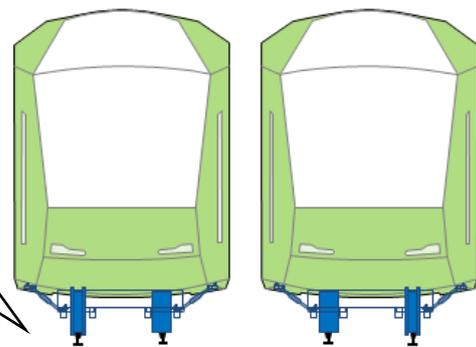


線路内にロープがある方が上り（阿夫利神社行き）

線路内にロープがない方が下り（大山ケーブル行き）

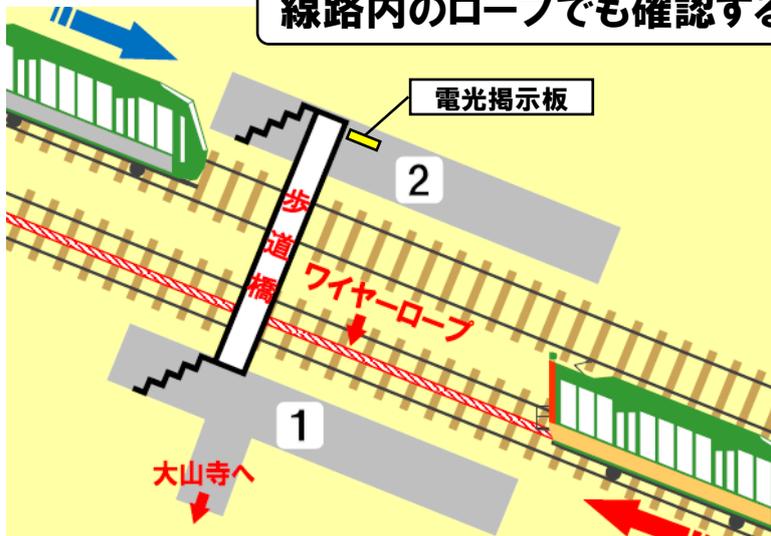
となります。

車輪に秘密あり



ケーブルカーの車輪構造

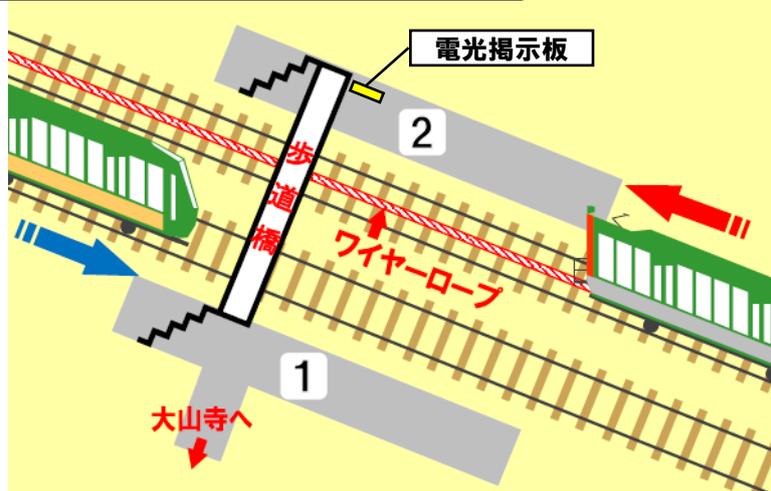
線路内のロープでも確認することができます ホーム白線の内側に下ってご確認ください



図のように 1番ホーム側線路内にワイヤーロープがある場合、このロープでケーブルカーを引っ張り上げますので

1番ホームには上り・阿夫利神社行き

2番ホームには下り・大山ケーブル行きが到着します。



図のように 2番ホーム側線路内にワイヤーロープがある場合、このロープでケーブルカーを引っ張り上げますので

1番ホームには下り・大山ケーブル行き

2番ホームには上り・阿夫利神社行きが到着します。